

1. 件名:「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-136)、
廃棄物管理施設(111)、MOX燃料加工施設(2-91))」

2. 日時:令和5年12月26日(火) 11時00分~12時00分

3. 場所:原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

古作企画調査官、大岡主任安全審査官、岸野主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、新井安全審査官、小野安全審査官、上出安全審査官、山口係員

日本原燃株式会社 燃料製造事業部

燃料製造建設所 許認可業務課長 兼 再処理事業部 副部長 他1名

5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの令和5年12月21日の提出資料に基づき、申請対象設備に係る具体的な設備等の評価(MOX燃料加工施設)について確認を行った。

(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。

- ・申請対象設備に係る具体的な設備等の評価については、後次回申請との関係性等を含めて代表して説明する設備等の整理を進めるとともに、構造設計等や評価に係る説明が補足説明資料も含めて網羅的に示されるように拡充する。

6. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

7. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html
- ・ 令和5年12月21日

「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	はい原子力規制庁の神です。それでは日本原燃とのヒアリングを開始します。本日は、我々、12月26日申請のあった再処理施設と管理施設、
0:00:15	では5年2月、
0:00:17	2、
0:00:24	成長側の出席者ですけども、
0:00:36	出席者の紹介とあと、今日は資料の説明というよりも最初に何か話することができるのであれば角谷
0:00:44	ます。
0:00:47	はい。与儀ニシウラでございます。はい。こちらメンバー私、石原と阿藤、MOXのそれぞれのパートナー、作業者そろえております。
0:00:57	すいませんいろいろと体調不良が出てってアノン。
0:01:02	うまく予定通りヒアリングできてません。申し訳ございません。
0:01:06	商談出社資料もですねまだ足りてないところが多々あると思ってます個別補足も出せてませんので、それら含めてフルセットの状態にしないといけないという状況には認識しております。はい。
0:01:18	以上です。
0:01:21	はい。
0:01:22	でしょうか。それでは、
0:01:26	短い時間の中でざっと枠のところだけ、
0:01:31	課題認識を共有できればいいのかなと思ってますが、規制庁側からあればお願いします。
0:01:40	規制庁の新井ですけど、資料の30ページですかね、20、
0:01:49	29から主な資料の4。
0:01:53	の説明がありまして、
0:01:55	30ページ目のところで、
0:02:00	最初の3行目のなお書きのところなんですけど、前回のヒアリングを受けて、例えば設定根拠の説明書で、
0:02:10	評価と今回評価として立ち上げるものを立ち上げないものがあります。説明がここに書いてあるんですけど、許可の例えばDBAなりで、
0:02:21	評価をしてるので、もうそれで今回の設工認で特別評価はないっていう話は、
0:02:28	ここに書いていただいて、それで仕分けできるのかなと思ってんですけども、例えばこの共通12条で、資料、
0:02:37	あれですね、

0:02:40	とかで示しているの、示す必要がないっていうのが、どのようにわかれば、どのようにこちらが判断すればいいのかなっていうのが、どっかに書いてあればいいのかなと思ってるんですけど。
0:02:52	そういうアイデアとかってありますか。
0:02:59	はい。人間者でございますそうですね今現状見えてないで書いてないので許可でということ的前提にするんであれば許可のどこでどういうことを書いているということを示すことで紐付けができるかなと思います。はい。
0:03:13	ので、そういう対応を図りたいと思ってます。
0:03:16	はい。
0:03:17	お願いしたいと思います。それで今回の設工認で評価として立ち上げるものがそこで明確になるのかなと思います。
0:03:24	本文ベースは以上です。
0:03:30	ファン本文で、
0:03:32	支店長がですね、ちょっと本文で幾つかあまり、
0:03:36	省略という感じで 29 ページ目からの、
0:03:41	(1) 評価項目一覧表の資料 2 から作成されるっていうような感じでこう論理展開されてるんですが、
0:03:48	これだとこの資料 2 まで、作成しないと、
0:03:53	初版ができないような感じになって、実態には申請状況から業務項目一覧を作成して、資料 1 から 4 を順次、認識共有を進めながら、
0:04:03	相互にフィードバックして全体の整合が図れるというようなプロセスに、
0:04:07	なってると思うんですが、どちらかというそういうその事実に基づいたプロセスを、
0:04:14	しっかり明記した方がいいんじゃないかなと思うんですが、
0:04:17	その辺いかがですか。
0:04:22	はい。日本原燃石田でございます今のは、そうですね資料にどの関係だけを書いてますがこの資料 1 から順番に頭から整理をして読んでいっていきなりここで資料 4 になったときに、
0:04:37	資料 2 との関係で言えばその前のいろんな資料の流れを汲んだ形での、この資料 4 の位置付けだったり、ぜひだったりということを示すべきではないかという認識をしましたがよかったですか。はい。その通り。
0:04:50	はい。承知いたしましたアノ。
0:04:53	あまり頭回ってないんですけど。はい、承知しました。はい。はい。政調会して、
0:05:02	3、
0:05:03	ているんですがそこって何かこう、

0:05:06	意図したわけ訳考え方とかそういうのってあるんですか。
0:05:14	多田に本社でございます開けるにしても分ける考え方は要と思うのでちょっと考えます次渡しするときには考え方を持ってグルーピングすることにしたと思います単純に
0:05:26	ボリューム感を平準化するとか、分けたかっただけではあるんですけど、そこに何か考え方がないところで突然
0:05:34	何でしょう。言い切りみたいな感じになっちゃうのもあれなのではイトウと考えます。はい。最初、家なんか 3-1 と 3-2 は、そこまでボリューム感が、
0:05:46	あるのかなと思ったので今の質問に至ったんですが、考え方があるのであれば、考え方を変えていただいて、
0:05:54	考え方もしなくて、特に分ける意味もないのであれば、ここ分けなくてもいいんじゃないかなというのが、
0:06:02	金コメント的などころでした。
0:06:08	はい。宮城ベッショでちょっと考えます。ボリューム感という意味でおっしゃる通り 1 と 2 ってあんまりボリューム抱いた。はい。ちょっと考えますはい。ありがとうございます。
0:06:19	はい。成長して、あと、34 ページ目の下から二つ名。
0:06:25	ポツの補足説明との紐づけのところなんですけど、
0:06:30	これって具体的に、
0:06:32	どういうふうに示すことを、
0:06:36	想定しています。紐付けを行うとだけあって、
0:06:41	具体的にどういうふうに
0:06:43	紐づけを行おうと。
0:06:45	してここに書かれてるんでしょうか。
0:06:50	日本原燃石田でございますそういう意味では、前回お話しした漏えい液受け皿とかでいくと、個別補足の 03 だけ。
0:07:01	では欠損部の評価の仕方とひもづけをすとかって言ってましたけどそれ以外にも
0:07:08	個別補足をどう展開するかってのまだほかのパターンもあると思うのでちょっとオカベ相続全体見て、整理をしていきたいと思います例えばですけど、今回風量設定今出せてないのであれですけど、
0:07:22	第 2 回と第 3 回の対象物を対象に、風量設定なんかをしてる時にその第 3 回の申請対象がいかなるものかと。
0:07:31	いうことはレベル説明しておかないと、その無料設定に繋がらないということもあるんでそういったことを補足ですとかですね、という個別属

	への展開を全体像をちゃんと示した上でどうひもづけるのかということ を、どういう説明をしていくのかということ整理できればと思います。
0:07:47	はい、規制庁からです。結構資料 4 で、今後個別補足を見ていくときに 個別補足一覧表、資料 2 の、
0:07:56	別添でしたっけ参考でしたっけ、あれが、
0:07:59	必要になってくると思うんですが、あれの位置付けはそのまま資料 2 の ひもづけるだけで、あそこで、その個別補足とか何か展開なんかが、
0:08:09	書かれるのかなと思ったんですが、ど、どういう。その辺はどうでしょ うか。
0:08:16	はい。日本原燃州でございます。第 3 項は、2-2 でしたけど参考が飛 んで参考だけになってる気がしますけど資料 2 の後ろについてたものこ れ
0:08:27	資料用も合わせて、もともと整理してましたそのままの状態ハンドリン グしようと思います。理由は資料 2 の段階で個別ソフトのリンクを、
0:08:37	構造設計評価含め全体しているんで、そこで置いとけばなと思いますけ ど、とはいえ、中身はある程度ブラッシュアップしていかないと、個別補 足の目的だったり内容がわかんないってところもあるので、
0:08:50	その位置付けのままでかつ、それだと資料 2 を毎回一緒に出さないと 整理できないんでね。
0:08:58	ということの整理の仕方もちょっと考えますはい規制庁アサノ結局資料 2 の今回もつけて欲しかったなと思ったところでしたので、その辺をちょ っと考えていただいて毎回つけてでも結構ですし、
0:09:10	とりあえずブラッシュアップが必要ということでお願いします。
0:09:13	本文関係私から以上です。
0:09:16	古作です。今のお話の中で、
0:09:22	大枠の流れ資料 1 から 4 まで流れていきと言いつつ、資料 3 の議論の 時にも、まず 4 に流すという関係から読んで何を評価するのかの前提と なるものを、
0:09:36	明示しましょうということで、流しつつもフィードバックをかけるような意識 を持って作業するっていうことは本文に、
0:09:44	書かれていて、そういったところを、資料 4 でもということかなあというふ うには思います。今の補足説明も、実際の
0:09:55	説明すべきものっていうのを、ブラッシュアップしていった結果、これ捕 捉必要だよねと。
0:10:00	いうことが出てくるはずなので、そこら辺をちゃんと資料に反映していくと いうこ等の作業の意識をしっかりとさせていただくと。
0:10:10	ということかと思えます。

0:10:13	で、
0:10:17	等そこら辺はですね。
0:10:22	投資、
0:10:25	20、
0:10:27	7 ページですかね。
0:10:29	ええ。
0:10:31	上から 4 行目のところにその資料 3 におけるその資料 2 なり資料 4 との関係ってのは少し触れられていて、
0:10:38	これと同じようにというわけでもないんですけど、相互の関係性っていうのを明確にさせていただけたらいいかなと。
0:10:46	思います。
0:10:47	今回の出席者も複数の作業者という古藤ですけど、今日話してるのってMOXのブラッシュアップをしてひな形を作るということ。
0:11:00	の意味合いかなと思ってまして、ということからすると再処理廃棄物管理がしっかりと認識をして作業する。
0:11:08	ということが大事なので、
0:11:11	その点、この本文を整理するとともに、作成ガイドの方にも展開をして対応いただきたいと思いますが、そのあたりの取り組みはどうでしょうか。
0:11:24	はい、日本ニシダでございますはい。資料 4 の関係も含めてガイドの拡充というのも、必要だと思っておりますので、その対応はしていきたいと。かつ確認をして、最初の人間背景、
0:11:39	廃棄物管理の人間作成者にも
0:11:41	説明をしていくと、理解を求めていくという作業が必要だと思っております。
0:11:49	はい、小阪先生ありがとうございます大分厳しそうなので、あとポイントいくつかお伝えしてということで済ませたほうがいいかなと思います。はい。はい。よろしく申し上げます。
0:12:00	他は本文関係で、特に、
0:12:02	カミデですけど本部関係かどうかっていうあれですけど、
0:12:08	その 32 ページから評価項目表があって、これ第 2 回申請ってなってるんですけど、
0:12:17	33 ページに行って協働力評価のところの耐震評価で、機器有限要素、
0:12:23	失点系ってあるんですけど、ここで、
0:12:26	説明するこの資料で説明すると、第 2 回のに出てくる機器とかっていうことだけなんですかそれとも次回も含めて何かその辺の考え方を教えてください。

0:12:40	はい。日本原燃石田でございますまず評価の対象は、第2回の申請に限ってますただし同じような評価をするものがいれば、第3回に出すものも同じような、
0:12:52	評価の方法を適用するんだとそれはどんなものがあるかというのは、説明をしようと思ってますして、あと例えばですけど、
0:13:01	風量の設定なんかは先ほど申しあげました第3回に申請するグローブボックスとかオープンポートボックスも含めて、風量設定の対象になってますので、諸元としては、入れて、
0:13:12	評価を全体としてやろうと思ってました。はい。
0:13:16	規制庁深見です。
0:13:19	機器が似てるものがあれば一緒に説明しますんですけど、似てないものってあるのかどうかっていうのが気になってるんです。
0:13:36	あとコサクです。今の話は、そもそも資料1って何っていうところに多分走ってるような気がしてまして、第1回の中から、一席並べて累計としてそのうちのどれが今回の対象なのかと。
0:13:53	ということで話をしようということからするとそれ以外に何かあるかっていうのは、すでに整理がされていると。
0:14:00	ということだと思っているん。
0:14:03	です、資料3とカーにはい。資料3資料4に入ってしまうと、その枠の中の構成する対象とするものは何か。
0:14:15	その中の代表と、
0:14:17	ということになるので、それ以外はっていうのが少し見にくくなるんですけど、でも資料3なり資料4の一番最初の目次。
0:14:26	を見れば、それ以外は何でいつでっていうのはわかるようにしているんではなかったでしたっけ。
0:14:41	はい。日本原燃州でございます現状資料に資料さーんの、特に資料2です、ね条文単位になってきますけど、
0:14:50	今エントリーしてたのが僕の場合は第2回の申請の条文を対象にエントリーしてました。
0:14:57	そこから、そのあと資料3とかいうふうに展開しているので、し、
0:15:03	第3回議イシカワ出てこんなで、第3回に出てくるような、放射線管理とか、通信とかかな、電気の条文なんかは今回第2回ではあまり対象にしてなかったというのが現状でございます。
0:15:21	補足ですそれはそれで別に構わないと思うんですけど、
0:15:27	と何らか説明をするものに対して、一緒なのか違うのか、何が違うのかと、いうことを議論したいというものについてっていうことかなと思うんですね。

0:15:39	カミデの視点からすると耐震ということに、
0:15:45	なる等、その条文、それぞれの要求とは別についていう古藤。
0:15:51	にもなってくるのでそうすると、入ってこない条文関係もあってっはいは0。
0:16:02	ウタってことかなとも思いつつ、でも機能維持の関係っていうのはそもそもそれぞれって説明してもらいたいということもあるので、
0:16:12	それは別途っていうのを言ってくれればいだけ。
0:16:15	だと思っんですけど。
0:16:20	日本原燃石田でございます先ほど申し、言っていたように資料1は少なくとも第234も含めて全体を示しているので、
0:16:30	その全体像をまずちゃんと把握してますよということを前提に、
0:16:35	それぞれ説明する際に、これが、
0:16:41	特に大変なのかな。
0:16:42	全体像を語っているつもりなのか、それとも、第3回になったら他の分類学の人が出てくるとか、
0:16:50	その中に全部含まれているのかって今いろんな系統があると思うんですけどそれを説明をまずちゃんとすると、ということかなと思います。
0:17:00	目を合わせても来れない人がいるんで
0:17:04	話が通じてるのかどうかよくわからないんですけど、はい。ちょっとそういうことをちゃんと示していくということかなと思います。はい。
0:17:12	とコサクです。第二課
0:17:17	であろうと、第1、第1回からではあるんですけど、添付書類の中でわあ、目次があつてですね、
0:17:26	次回で示すとかってということも含めて全体体系を示した上で今回必要なものをしっかりと入れてくださいと。
0:17:33	いう話をしていますので、
0:17:38	ジェーソンなので資料1があつてということですから、それが説明できるようにしてください。それが目次かなと思ってましたので、目次以外で何か説明が、
0:17:49	こういう場所でこうしたいというのがあれば言っただいでも結構ですけど、
0:17:55	全体の体系がわかるようにということで、よろしくお願いします。以上です。
0:18:02	はい、宮西でございます。いたしました。
0:18:06	ど規制庁カミデさん、
0:18:08	資料1との対応関係をはっきりさせてその代表性。

0:18:14	がどう、どういう代表になっているのか、類型になってるかってわかるようにシバせるってことなんですけど。
0:18:19	ちなみに、今、
0:18:21	今日の資料だとグローブボックスを例示でこういろいろ書いてますけど、
0:18:27	これ以外に、第2回として何か作るつもりがあるのか、第2回としてはもうグローボックスのこの説明で、資料4の耐震としてはもう終われると思ってるのがまずその辺の意識。
0:18:40	は教えてもらえますか。
0:18:48	日本原燃の伊藤です。
0:18:51	ですね最新の資料の方にも書いておりますけれども、今回グローボックスの説明で、グローボックスといっても内装機器とか連成してる機器とか、ナカノ搬送設備も含めて説明できることから、
0:19:08	今回のグローボックスで代表して説明できるものと考えております。
0:19:15	はい、規制庁鏡ですとりあえずそういうつもりで作っていくということだと。
0:19:21	まず認識しましたので、はい。足りなければまたそういう話をすれば、
0:19:25	いいだけなので。はい、わかりました。
0:19:29	あとはごめんなさい、古作です。代表の考え方みたいなのは、先日のヒアリングで少し話をして、
0:19:39	まだ固まってないんじゃないかなと思いますけど、そのあたり、
0:19:44	どう進めてつくつもりなのかそれを踏まえてじゃないとイトウさんの回答も、
0:19:50	はっきり本当はできなかったはずで、現状作るつもりはなかったっていうのは、現状の考えは聴取したということにしつつ、
0:20:00	どう進めるんでしたっけ。
0:20:07	はい。与儀西尾でございます。代表は、先週ですねやらせていただいたヤマダ。
0:20:14	家的的な状態になってないので整理が必要だと思ってます。
0:20:20	このボックスの資料をお出しするにあたり、とは言えということで前回も同じようなご指摘を神谷さんからもらっていて、
0:20:32	今回116ページとか117ページに、それ、
0:20:37	大井、ない頭を絞った考え方を一応書いてみたんですけど、あとはそういう意味では配慮する事項が多いとか、説明のポイントが多いということをおい、代表性の着眼点に挙げて、
0:20:53	定義をしていくということで考えてみてます結果は
0:20:57	全体としての代表の考え方みたいなものを、
0:21:01	前回も最初に廃棄物を対象に資料3の、

0:21:05	どっか資料2の代表でしかなくて評価の方をどうすんだっていうところも拡充して全体見ていかないといけないので、それも含めて整理ができればと思いました。はい。
0:21:15	古作です。資料4ですね、評価手法の、
0:21:21	累計っていうかパターンがいくつかあって、それを適用する代表がどれをするのか。
0:21:30	それで説明したところで言えば違うパターンのやつはもう一つ説明しなきゃいけないと。
0:21:36	ということになるのは、誰が見てもわかると思うんですね。
0:21:41	その時に、先ほど言われたグローボックス内装機器との連成があるので代表になります。
0:21:49	いう説明は待った空疎の趣旨に合っていないくて、
0:21:53	連成しなきゃいけないものはその中での一つの代表でしかなくて、連成しないもの、或いは剛であるものというものの評価をこうですよということで、パターンごとに、
0:22:07	代表を入れてもらわなきゃいけない。
0:22:10	代表或いは差分として言ってもらわなきゃいけないということで、
0:22:14	連成して解析するものと5のものは、多分、
0:22:17	全く入口の種類が違うので、それぞれで代表かなっていう気もして、
0:22:22	私はいたんです。
0:22:24	そういうことも含めて、どこで切って代表という言い方の枠をするのか差分の枠組みっていうのかと。
0:22:31	いうそのあたりの考え方から含めて整理をしないと、ちょっと言葉が合わないかなと思うので、今後整理をしたところでまた聞かせてもらえればと思います。以上です。
0:22:44	はい、稲毛石原でございますはい、承知いたしました。
0:22:50	あ、規制庁カミデですけど、ちなみにGBの内装切って、
0:22:54	5のやつって手計算してないんです。
0:22:58	プログラムから、
0:22:59	どうしてと。
0:23:00	なんか加速度だけ取り出して手計算でやってるような気もしつつ、今回そこまで書いてないですけど、実際どうでしょう。それだと
0:23:09	DBで代表っていう話にもなるんですけど、
0:23:14	はい。日本原燃の伊藤です。
0:23:16	5体、GB内の固定機器につきましては、加速度の方を抽出して、それを

0:23:26	評価する部材に当てはめて、応力の計算をしてるそういったことをやっております。
0:23:34	しかもあれですねそれはそれとして、排風機も確か代表に入れたから復大田融合の急遽排風機でってことでした。
0:23:43	はい。日本原燃の一つすいません。剛な機器については、今回、型式の方で挙げてます改修。
0:23:53	にしても、そう、
0:23:56	対象層、網羅性と代表性なりを、
0:24:00	ちゃんと整理をして話をしてくれる。
0:24:06	本文側から、
0:24:08	ちょっと細かい話だけ言って聞くと、31 ページの、
0:24:14	上側の(4)の、
0:24:17	許容限界について云々って書いてあるところがちょっとイメージ掴めないんですけど、これはどういうことですかその条文に、付随する機能用特別な機能要求みたいな言葉ってことですか。
0:24:44	うん臨界の平易ねずんこれじゃわからんな。
0:24:49	米津電車でございます。
0:24:52	だったらそう鹿庭なかった。
0:24:55	委員会の変位のやつの設定は臨界の構造設計で説明するから、
0:25:00	書いたらわかったんだらうね。
0:25:04	そう言わないと全然わかんないね。だからグループ 3 でやりますっていうこと。
0:25:09	委員会の比熱については、許容限界については、
0:25:15	ちょっとここはもうちょっと日本語を考えます。はい。
0:25:22	うん。はい、規制庁カミデステズわかりました。なんか表にも一応書いてます。3、
0:25:30	本文関係としては以上です。
0:25:42	えっとコサクです。ごめんなさい今言われたやつは、
0:25:46	資料 3 で何を説明するのかっていうのがいまいちよくわかんなかったんですけど。
0:25:52	構造としてこっだけ離れてますよとかっていうのは、資料 3 ですけど。
0:25:58	その離隔でいいのかっていうのは資料 4。
0:26:02	だと思ってましたけどその理解で合ってます。
0:26:07	はい、日本ヨシダでございますはい。ご理解の通りです。はい。
0:26:13	コサクですわかりました。
0:26:17	Ⅱ、
0:26:20	目に

0:26:22	この追加して説明するって言うてるのは資料 4 だって意味。
0:26:27	ですね。
0:26:31	それとも、資料 4D、そういう評価をするのだから、その元になる前提となる、実際の配置については資料 3 の方に追加しますってこと。
0:26:45	書いた文書は追加ないですよ。そういったところのどっちに何をとかってというのが、もうちょっとクリアになるように文章整理さしてもらいます。はい。
0:27:01	はい、ほかございますか。
0:27:05	すいません。ちょっと
0:27:06	35 ページ目の方から、添付でもその例で資料 4 というのが、
0:27:12	まず、
0:27:14	私ですけど。
0:27:16	資料 4 の 40 ページ目から、
0:27:23	にやっちゃおうかなって思います。はい。はい。ちょっと私から大枠で一つだけなんですけども、
0:27:33	先ほどともうやりとりがあった内容で、個別補足説明資料の使い方、これからまたいろいろ作業はやって、それで 34 ページのところ考え方変えていくっていう形だと思うんですけども、
0:27:47	例で言うと、例えば 79 ページ目とかですかね。
0:27:53	23 条の①っていうところで、
0:27:57	半期の話が出てきたりとかする部分なんですけど、
0:28:01	例えば漏えい器受け皿についてはすべての容器容器というか受け皿について添付という形でまとめられていたんですけども、
0:28:11	グローブボックス 1 個当たりの業績っていうのはこの表の C にあって、それが 103 でチャンピオンのやつを持ってきましたっていうことを書いてあるんですけども、
0:28:22	たくさんがキャンピングカーどうかっていうのが同じように添付とかで示されてないっていうのが、まず、
0:28:27	大きくあってですね。
0:28:29	そこは補足なのかそれとも添付にあるかっていうのがよくわからなくて、その考え方をちょっと整理していただいていたいたきたいなと思っております。
0:28:38	例えば何か開口部風速については、補足を立てて、
0:28:42	示しているんですけども、これを池定期ユキ座については、このパワポの資料の添付で示しているので、ちょっとその区別が、曖昧なのかなと思っております。
0:28:54	あと全体的にいえるのはですね、

0:28:57	この 23 条関係でいうと、72 ページ目から始まるんですが、
0:29:03	資料 3 の詳細設計展開表の中で、あの当時の添付資料の、
0:29:12	添付書類ですね、風量の話の根拠みたいなものを書いてあって、ただそこよりも大分内容が薄いなって思ってるんですよ。
0:29:22	例えばですけど、ここで風量を出すときの考え方としては、負圧で今負圧の観点だけで展開してる部分があるんですけども、
0:29:35	添付資料で見ると、他には崩壊熱状況だったりとか、あとはボリュームの観点だったりとか、幾つかの医療因子があって、
0:29:45	それを総合すると、こういう換気風量になりますっていうのが添付資料側には書いてあるんですよちゃんと。ただこっちにはそういったところもないので、
0:29:54	作業んの、記載の、
0:29:57	書き方としては、添付資料で書いてあるものは全部入ってもらえるのかなと思っててその中で行間を埋めるようなところを、ちゃんとバックデータなりで補足に飛ばすっていうやり方の方が、
0:30:09	いいのかなとは思っていますけども、いかがですか。
0:30:15	はい。日本原燃石原でございますはい。まず、おっしゃっていただいたように風量の設定には五つだったかないしがありますと言って五つだけ三つだけ、六つか。
0:30:27	崩壊熱決めていろんな要素があってその中の負圧だけを取り出して今説明グループ 1 で展開しようと思ってます。それ以外の因子がグループさんだったかな。
0:30:39	に出てくるっていうような設定になってまして。
0:30:43	おっしゃっていただいて、ここでいきなりその風量の負圧の話だけ始めると風量全体の話とのそごが出てくるので全体図を書いた上で、そのうちこの話を今展開してるのかっていうのがわかるようにさせていただくというのと、
0:30:57	あとは個別補足おっしゃっていただいたように今 70 数ページからやるところもう、
0:31:06	多分、
0:31:08	ユキの容積の問題ですねこれが全体像が、多分ぶら下がるものが出てこないと説明できないというのと、
0:31:18	以後ですね第 2 回のものが取り込め、
0:31:25	出野新井田。
0:31:27	出してますけど第 3 回も含めて対象になるので、そういったものの全体像がわかるように、

0:31:34	神戸高速では展開させていただかないといけないかなと思ってます。補足で示し、
0:31:42	それとのリンクで、この1-4の中で評価を組み立てていくということだと思いますので整理を進めます。はい。
0:31:52	はい、そうですね網羅的な説明の観点から例えばチャンピオンケースなりを設定する際評価条件で設定する際には必ず根拠っていうのが出てくると思いますのでそこに漏れがないかっていうのは、まず視点として確認した方がいいのかなとは思っていますので、ぜひ対応よろしく願いいたします。
0:32:16	私から言いたかったのは以上です。
0:32:21	他、よろしいでしょうか。規制庁加瀬です。じゃ、ちょっとだけ、当惑ということでもないんですが86ページ目の搬送のところ、
0:32:31	ここだけいつも何か、
0:32:33	ずっとコメントし合ってる空中戦みたいになっちゃっているんですが、結局、
0:32:38	今回事業、2ポツの人、2段落目とかですね事業区間にて説明している搬送物の落下によるっていうふうに、
0:32:48	今回の許可を持ち出して書いてきてるんですけど、許可で搬送条文はなくて移動のところ、少しいろいろプロセスの方で気にすべきことは書いてあるんですけど、
0:32:59	許可に基づくのは当然なんですけど許可は、アノ等とかで広く読んでいて、
0:33:04	搬送に関しては、
0:33:07	技術基準に基づいて要求を踏まえて対象を決めていくということで、今回、許可の方でも決めてるような欄とかですね、分析資料とかそういうのは、
0:33:19	人の安全に著しい支障を及ぼさないんじゃないかっていうふうに原燃が判断できるっていうから、
0:33:26	除きますというふうに説明していてその説明だから、何が言いたいかって溢水とかで、対象機器は何かとか、
0:33:35	結局
0:33:37	母集団が何で要求が何でだから、こういう設備が抽出されて、それに当たらない、これらは外れますっていうことを説明して欲しいんですけど。
0:33:47	その辺の認識がまだちょっと共有できてなくてですね。
0:33:51	その辺いかがですか。
0:34:11	ちょっとだけ待ってください。
0:34:30	だから、事業許可にて説明しているって書いてる分言葉の、

0:34:36	置く場所が多分間違ってるこれだと。
0:34:39	あんたたちが言いたかったのでしょうか。グローボックスだから落下によって影響を受ける安全機能は、
0:34:47	閉じ込めの話と臨界の話だっというのを許可で説明してたから、それを対象に、
0:34:54	説明をこの後安全に支障がないってのはどういうことかっていうことを展開しますよってことが言いたかったと。
0:35:02	だから搬送物自体が何かっていうのを事業許可で説明しているって話で、展開しようと思ってたわけじゃないんでしょ。
0:35:09	どうしても挟んでる言葉の場所が悪い。
0:35:13	はい、日本ギリシャでございまちょっとあの言葉の使い方も含めて個別補足をすいません出せてないです作ってもらってる限りにおいては、考え方はずれてなくてですね、全部をまず対象に置いて、
0:35:27	搬送として考えるべきものって何ということ、整理をしていっているの、そういう意味ではずれてはいないと思ってますはい。はい。清長です。
0:35:40	そういう点もあるんですけどあと許可では、要求名はゴトウでくっついてで、
0:35:46	例えば遮へいなんかも具体例として挙がってるんですが、ここでは出てきてないっていうのもあって、おそらく基本的安全機能、業種はちゃんと考慮した上で、
0:35:57	こういうものは、ちゃんと、
0:36:00	搬送設備として扱います。
0:36:03	ちゃんと保持機能も、把持機能とかをちゃんと、
0:36:06	維持したいですっていうような整理になると思うんですが、何かその結果だけがこう列挙されているので、例えば、補足説明資料で説明するにしても、そういうことが誤解ないように、
0:36:18	しっかり説明いただきたいと思うんですが。
0:36:26	はい。乳井の石田でございませ。おっしゃったように収支はあれですかね、よく言う、メインの安全機能という、
0:36:37	いるMOXでいくと、委員会閉じ込め、
0:36:42	太平さん。
0:36:44	あと何だっけ。
0:36:45	と除熱です、冷却が。
0:36:49	レア損か他にという、
0:36:52	はい。そういった機能全体を見て影響がないように搬送物の
0:37:01	荷重の設定もするし、落下防止等の影響を考えた設計をするということですかね。はい。全体ちょっとシナリオ、もう一度、

0:37:13	考えますはい。
0:37:15	はい、清町からですよろしく申し上げます。
0:37:17	新津。
0:37:18	以上。
0:37:21	古作です。
0:37:24	今話をさ、オオモト米アノ*一井で劣化ウランと書かれてたりっていうところがありますけど。
0:37:32	これもけっきょ食う。
0:37:35	本文側と同じ。
0:37:37	本部が受けてんだからでしょうけど、漏えい防止と臨界防止に限っちゃあっていて、かつ、なぜこれ妥当、漏えい防止、臨界防止で支障がないのか。
0:37:48	ということも説明がされてないと。
0:37:50	自明でしょっていうふうに開き治られてるっていう感じなので、ちゃんと根拠を、を書くと。
0:37:57	いうことにしてください。
0:38:00	先ほど岡が言ったように、変に限定かけてはいけないので、許可で説明してたにせよ、
0:38:07	どういふところはなぜ外れるのかということを書いてみましょう実は、許可で説明済みですならその許可で説明した場所を書いてくれればいしと。
0:38:17	いうことなんですけど、先ほど等がありますよっていうことからすると、ちゃんと説明しきれてないん。
0:38:24	だと思しますのでそういう場合にはこちらでちゃんと、
0:38:29	何ですかね、同じような説明だったとしても、また合わせて変えていくということの方が対応としては楽じゃないかなと。
0:38:38	いうふうに思います。以上です。
0:38:45	はい。
0:38:49	はい。カミデですちょっと耐震関係で、
0:38:55	ちょっと注意、ブラッシュアップの時に、手当して欲しいところが、
0:39:03	今回、グローボックスダテスの配布、能アノ評価。
0:39:07	評価の話、書いてますけどまず評価部位ですよ。これでいい、いいんですっていうのが、考え方がありたいと思って、実用労と同じように耐震建物01資料で、その評価部位の代表性網羅性っていう資料はついてるんですけど。
0:39:25	ここで評価しますって結論だけ書いてあって、考え方が書いてないので、こっちの資料もそうだし、展開される補足。

0:39:35	けど
0:39:36	そこも大事なポイントなのでよろしく。
0:39:44	はい。日本原燃長です。はい。評価部位の考え方ですねそちらの方についても、整理終了いたします。
0:39:53	はい、規制庁カミヤアノ、それを整理しなきゃいけない。タスクっていうのはもう、あと実用量参考に補足資料を作ってねって言った、3年とか3年前とかそれぐらいから始まって話なので、
0:40:06	しっかり、
0:40:10	規制庁コサクです。
0:40:13	カミデが言った通りではあるんですけど、
0:40:18	許可の段階からずっと原燃は結果しか示せない考え方が述べられない。
0:40:25	聞いても、整理していきますということだけで、
0:40:28	オオモト考えてたようには聞こえないと。
0:40:31	ということが続いているんですけど、
0:40:37	今もってこの状態なのは何でなんですかね。
0:40:55	はい、二本木西尾でございます。なかなか浸透しないのが現状なのかもしれません。
0:41:03	ことごとく毎回、見て気づくところワーの結果を書くな、なぜこれでいいんだって考え方を書くようにと、よくあれで上げるのが、地震に基づくと会計なんでこの実質使えるのかってという説明を全く書かないで、
0:41:20	JIS何とかに基づくって書かれても、わからんぞっていう話をしながら、なぜこれが使えるのかって、使える適用範囲に入ってるのかも含めて説明をしないと駄目だっていうのを、ゆ
0:41:32	dん底上げはしてるつもりなんですけど。
0:41:36	なかなかその言った相手によって響き方も、時間遅れもあったりしてですね、そこがうまくいってないのが現状まだ続いてると思ってます。
0:41:50	はい。
0:41:50	コサクです。
0:41:54	もう、先ほどカミデが3年って言いましたけど、第1回申請から3年過ぎて、
0:42:00	ということで、
0:42:08	Steeringチームできてからも半年以上たってということですから、そろそろ最低限も区ではイトウさんレベルの人はですね、
0:42:18	しっかりとそういうことを考えられるという状況になっていて、
0:42:23	同僚なり部下なりに話をして、
0:42:28	次につなげるという。

0:42:31	活動に至っていないとちょっと困るので、
0:42:34	その点でなぜここなのか、他に評価すべき部位はないのか。
0:42:40	それはなぜか。
0:42:43	耐震の場合の評価であれば応力の分布、荷重の分布かな。
0:42:50	から
0:42:53	断面性状とかを踏まえつつ、どこが厳しいかっていうのはある程度その構造的に明確になっていくわけで、そういったところをしっかり押さえていくと。
0:43:03	ということで特異な各力のかかり方がするものは応力が低くてもピックアップして、大丈夫ですよちゃんと低いですよということを説明するというのは自然に考えられることだと思いますので、
0:43:15	しっかりと技術者として意識を持って対応いただきたいと思います。以上です。
0:43:24	日本原燃井藤です。はい、了解いたしました。
0:43:28	規制庁神里私からちょっと確認なんですけど、45 ページなんかを見て、
0:43:35	いると、下から三つ目のところで、配管系標準支持間隔ってあるんですけど、さっきも話をした資料 1 との紐づけやってくれば、
0:43:47	整理されるような気はしつつ、単純な事実確認としては、MOXで標準支持間隔以外、要は梁モデルで配管評価することありますか。
0:43:59	工事課も含めて、
0:44:09	日本原電イトウです。
0:44:11	次回まで含めると、タシツテンで配管モデル化してる場所は、出てくる。
0:44:18	が出てきてると考えてまして今回は第 2 回についてはないです。
0:44:23	はい。
0:44:24	規制庁カワセ
0:44:26	コサクです。ちなみにどんな場所。
0:44:37	どちらかという私今回グローブボックスに繋がる配管は合わせて、失点とりますとかっていう方だったらまだ、
0:44:49	理解できるんですけど、そこは定ピッチって言ってたはずで、
0:44:54	それでちゃんと繋がるのっていう話はしてましたけど、
0:45:00	どこなんですかね。
0:45:03	そこが先ほど神谷が言った資料 1 から繋がって整理すればわかるはずなんですけどっていうことにはなるんですが、
0:45:13	若干、
0:45:15	UT申請対象が、
0:45:19	すいません日本原燃伊藤ですけれども、ちょっと今、
0:45:24	確認に移って、

0:45:28	どう、
0:45:30	明確にちょっと今出てこないし、今、ダイトウ聞いても配信はできないんでまたちゃんと整理していただいでください。
0:45:39	あとその1個ウエダ等機器のところについて1.2Ssみたいな話があるんだけど、第2回としては、1.2Ssは関係ない範囲でしたっけ。
0:45:55	はい。日本原燃土佐第2回で、1.2Ssの配管、あれ、ございます。
0:46:03	規制庁。
0:46:04	私は(ア)その上の、
0:46:08	何だろう、標準支持間隔じゃなくて機器のところで聞いたんですけれど、
0:46:14	あれですか、配管も1.2Ssあるんでしたっけ、まず配管の方は1.2井清です。これ第2回の申請は、
0:46:24	日本原燃、宗です。はい。
0:46:27	重大事故等対処設備の兼用してるダクトがありますので、今回、丁寧ですとか、
0:46:38	同様にその上の匹も一定にSRDはあの範囲に入ってる。
0:46:46	はい。日本原燃一緒ですけども、排風機、
0:46:49	ありますので、はい、ありがとうございます。
0:46:52	はい、規制庁。
0:46:54	それで、その後ろの方の資料で、今回
0:46:58	SsとかSDに対して、こうしますっていうのがほとんどなんですけど、Ss-Dに対する設計に対して、地震、
0:47:09	同地震力を読みかえるだけで1.2Ssの説明が完成するのか、それとも1HSSはちょっと、
0:47:19	シカタカいてますとか、許容限界、少し精緻化してますみたいな話ってあるんですか。
0:47:28	日本原燃伊藤ですけども。
0:47:30	1.2Ssの評価で、モデルを変えたりとか条件書いたりとかしておりません。許容値についても、Ssと同じもので今、評価してるところでございます。
0:47:43	はい。規制庁、
0:47:44	奥さんそんなところだろうと思うんですその辺がわかるようになってる。とりあえず、
0:47:50	私の方からは以上。
0:48:02	いやそしたら、
0:48:04	最後に振り返りとかやります、日本イシハラですさっきの
0:48:09	失点のやつ、グローボックス内の創価配管、第3回行ってくる。
0:48:15	井清設備だっけあれ。

0:48:16	うん。不破大丈夫だったと思ってます。はい。
0:48:21	ふうん。
0:48:23	規制庁カミデそれ苦労ボックスを連成して解いている。
0:48:28	ワダとしては何か機器が来ます。
0:48:36	編成しないとならない。
0:48:40	訂正してないよね。
0:48:43	普通に定ピッチで5号の定ピッチとして審査確保20平日なんで、久保楠本編イデっ。
0:48:51	ぐらいの
0:48:52	ユリの設計でいいような気もしつつ、はい。
0:48:56	対象はそうだった気がします。なぜそこまでなってるか、ちょっと確認してください。
0:49:03	サポートとっちゃ困るよ。
0:49:06	古作です。
0:49:08	MOXの設計はですね、
0:49:11	この後、SSSの方でも話をして、
0:49:15	SG期にどういふその耐震を求めるのかどういふサポートTallのとってもらうのかと。
0:49:23	いうことも話をしなきゃいけないと思ってるんですけど。
0:49:27	何かその全体を見渡してこういふ設計が適切だっということ、上流から整理をするっていうことがやられてない感じがしててですね。
0:49:37	何かある面からこうしなきゃいけないっていうふうに限定されて、無理くりな設計になってるような気がしてならないんですね。
0:49:46	そうじゃないってことなんだとしたらちゃんとそういうところも含めて、全体の要求事項を並べた上で、こういふふうに設計しましたと。
0:49:56	いうことを言ってもらってからじゃないとちょっと、
0:50:01	資料4に入ってくっというのは難しいなと。
0:50:05	思っていますね、それを展開する資料3をもう少し、あわせてブラッシュアップしていったということにもなるので、そこもちょっと考えながら整理をしていただければと思います。
0:50:26	はい。弓削ニシダでございます。はい。ちょっと整理を、こちらを進めますはい。
0:50:34	そんな無理な設計してるからね。
0:50:37	はしれない。タジリとしての条件付に送るのは、蛭田チェックしていた。
0:50:47	後、アベが、うん。
0:50:49	当たらないように別な会社っていう狭いところにグループに入れ過ぎない。

0:50:54	これはいいな。
0:50:57	もうちょっと建屋広くてもよくないって言って、
0:51:04	なんかもう町工場じゃねえんだからよって言いたくなるんだけど、
0:51:08	はいちょっと考えますか
0:51:11	個人的にはちょっと無理くりを仕込んでるかをあるので、そういったところでひずみが出てるのかもしれないですけど、はい。
0:51:18	はい、古作です。そういう印象を受けてます。濃縮の方は無理クリーですごい支持構造物の化け物みたいになっちゃっていて、
0:51:30	そこ許可も踏まえながらやらざるをえなかったっていうことだと思うんですけど、あとはその施設だということもあってですね、しょうがない部分はあったんだと。
0:51:42	現時点では思わざるをえないんですが、
0:51:45	MOXの場合はこれからのものですので、しっかりとそういったところを、全体見渡して、どういう設計がいいかというのを考えていただきたいと。
0:51:54	いうふうに思ってますし、それ考えないと、IAEAとの設計の折衝もできないんだらうと思いますのでよろしくお願いします。
0:52:07	はい。そうしました。
0:52:16	はい。他はよろしいでしょうか。
0:52:21	振り返りとか簡単にしますと、
0:52:26	2年間に、古作です。振り返り簡単でよくて、ここの案件は、後で、文字起こしでも見てもらえばいいですから、大枠として補足説明通出すのとか。
0:52:40	先ほどの資料2の反映も含めてですね全体的な整理はいつまでにやるのとか。そういったところのポイントだけ
0:52:50	見通しというか考えを聞かせてもらえればと思います。
0:52:58	はい。読売志田でございます。はい。
0:53:02	個別補足含めた全体のこのパッケージとしての流れの整理だったりも含めてですね、させていただくのは今、1月のあれ、12だっけ。
0:53:15	の資料提出のタイミングでは、
0:53:18	何とか実現したいと思ってますアノとはいえすみませんうち結構な人数がバタバタとっていうところもあるので、南波板井ってところしか今言いようがないんですけど、はい。
0:53:29	あとは、そこで個別補足の臨空であったり個別補足で何のために作るのということと、資料等の関係ですね、という整理も含めてできればと思います。
0:53:42	代表の話ははい再処理含め全体の考え方を同じように、年始までに何とか整理をして、

0:53:52	いきたいということで思ってます本当は年末までにと行ってたんですけど、再処理の許認可関係も結構な勢いで、
0:54:02	人がいなくなってます、なかなか、
0:54:05	体育館がインフルエンザの砂田 と思うぐらい、ほぼ全別に近くなってきているのはい。ちょっと年始早々に片付けられるようにはしていきたいと思ってます。
0:54:17	はい。あとは耐震は耐震でちょっと考えてもらおうと思います
0:54:23	相川のところです、自分の言いたいことだけ言ってるところは全体の説明が成立してないところは自分たちで考えてもらおうと。
0:54:31	思います。はい。以上です。古作です。全般的に年Cに整理をしていくと、現状だし、
0:54:43	されているスケジュール表だと11日に資料4の、
0:54:54	資料、MOXの資料4と言いながら再処理廃棄物の評価項目の抽出結果を含むと。
0:55:02	いう言い方がちょっとよくわかりませんが、資料4が出さ0で翌日12日2、
0:55:10	補足を出してということで分かれてますけど、
0:55:20	等、
0:55:23	ここ出していくところでは代表性とかっていうのも含めながらその状況も聞かせてもらうということ。
0:55:30	からすると、
0:55:33	へえ。
0:55:34	現状だと11日チイに進め方の資料提出があつて12日に、
0:55:41	進め方冷やだと、ということなので、
0:55:45	年末年始、インフルエンザ流行ってるということからすると、体育館で作業するのではなく、皆さん在宅なり何なり、
0:55:55	身の安全を確保した上で、
0:56:00	できる範囲。
0:56:01	やっていくと、ということの方が安全かなとは思いますが、
0:56:06	作業された分を、年始にどういう状況なのか、どう進めたいのかっていうのをまとめて提示いただけるというふうに、
0:56:18	理解をしておきますが、いいですかね。はい。はい。日本原燃石田でございませう。はい、ありがとうございます。はい。私も、
0:56:28	もう帰ります。はい。
0:56:34	はい、細田です。今無理してもしょうがないところで、しっかりと考えを整理をして、一人一人が意識を持って対応して積み上げていくということが必要な段階にきてると思いますので、

0:56:49	よろしくお願いします。その点ではですね、先ほど
0:56:53	担当者に考えさせるというような話ありましたけど、考え方がわからない人が幾ら考えても結論は出てこないんですね。
0:57:02	わかっているということが前提で話をしたんだと思いますけど、ちょっと信じられないところもあるので、その点では、やはりその実用量なり何なり、地権者の、
0:57:16	支援というのが大事で、そういった方々と議論するというのがやはり大事になってくると思います。
0:57:23	で、先ほどインフルエンザがあってということで話をするとそういう場がなかなか持てない。
0:57:30	じゃないかなと。
0:57:31	思うんですけど、
0:57:34	ねっとわー食うの中で、連絡を取り合うということでできればやってもらい、できなければ
0:57:43	どう刻んでやっていけばいいかと、いうことを考えながら、ステップを踏んでいただければというふうに思います。以上です。
0:57:55	はい。ニューメディアでございますはい。ありがとうございます承知いたしました。
0:58:02	はい。
0:58:03	それでは
0:58:05	他にございますかね。
0:58:10	じゃあこれで、本日のヒアリングを終了したいと思います。6 ページ。